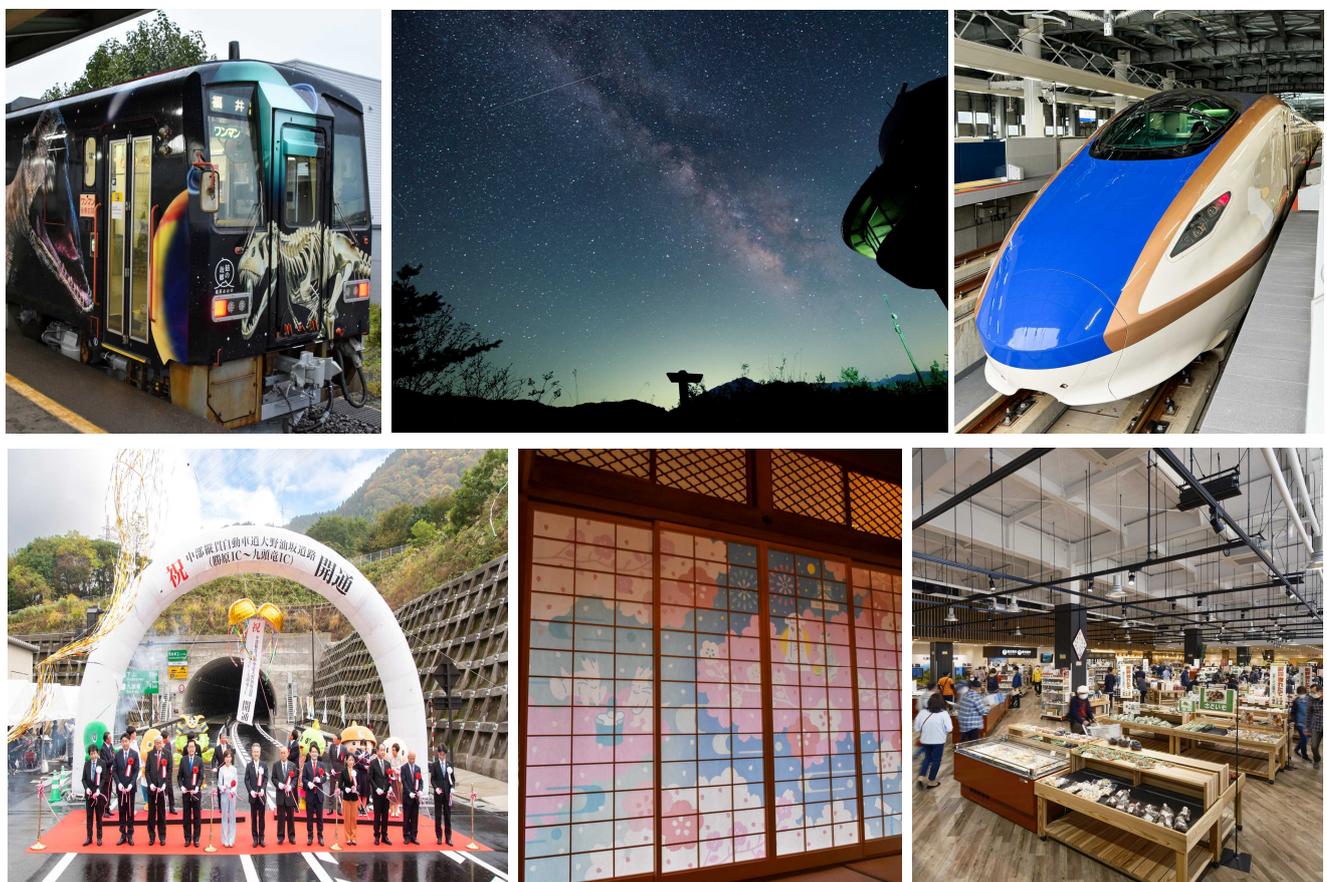


大野市高速交通 アクションプログラム

～未来へつなぐまちづくり～



平成31年3月策定
令和3年3月改訂
令和3年5月改訂
令和4年5月改訂
令和5年3月改訂
令和6年3月改訂

はじめに

中部縦貫自動車道大野油坂道路については、大野 IC～勝原 IC 間が令和5年（2023年）3月19日に開通、勝原 IC～九頭竜 IC 間は令和5年（2023年）10月28日に開通し、残る九頭竜 IC～油坂出入口（仮称）間は令和8年（2026年）春の開通に向けて整備が進められています。

中部縦貫自動車道の県内全線開通が刻々と迫り、市内では「星空保護区」の認定を生かした観光誘客や新たな宿泊施設の進出決定など、開通に向けた準備を進めています。

北陸新幹線については、令和6年（2024年）3月16日に金沢・敦賀間が開業しました。

中部縦貫自動車道と北陸新幹線の二つが整備されれば、大きな高速交通ネットワークが形成されることになり、人の交流や物流の拡大が見込まれます。

特に、中部縦貫自動車道は、今後発生が危惧されている南海トラフ地震など太平洋側で大規模災害が発生した際に、代替機能を発揮する国土強靱化に必要不可欠な道路であると同時に、中京圏との結び付きがこれまで以上に強まります。

また、北陸新幹線の延伸は日本海国土軸を確固たるものにすると同時に、東京のみならず北関東方面との産業や観光、文化交流の促進、さらには敦賀・大阪間の早期開業による経済効果が期待されています。

大野市では、人の交流や物流の拡大が見込まれるこの機会を逃すことなく、市民の皆様とともに様々な取り組みを行うことで、人口減少が進む中であっても持続可能な地域づくりを進めていく必要があります。

中部縦貫自動車道大野油坂道路荒島 IC 周辺では、令和3年（2021年）4月に、道の駅「越前おおの 荒島の郷^{さと}」が開駅し既に賑わいを見せ、同年6月には大規模災害時に広域的な復旧や復興の活動拠点となる「防災道の駅」として県内で唯一選定されています。

また、雇用の場を創出するため大野市富田産業団地を整備し、同産業団地に初めて進出した北陸モンベル大野物流センターが令和5年（2023年）3月末に操業を開始しました。引き続き企業誘致を進めていきます。

本プログラムは、中部縦貫自動車道の県内全線開通と北陸新幹線の金沢・敦賀間開業の前後までに、大野市が取り組む事柄について、市民の皆様と情報共有をするため作成したものです。

本プログラムを御覧になられた方々の、それぞれのお立場における取り組みが活性化されれば幸いです。

なお、本プログラムは、事業の進ちょくや新たな施策など変更が生じた場合には、その都度更新していきます。

目 次

1	中部縦貫自動車道	
(1)	中部縦貫自動車道とは	1
(2)	中部縦貫自動車道の整備効果	3
	①北陸圏・中京圏・関西圏・関東圏を結ぶ広域ネットワークが構築されます。	
	②広域的な迂回ルートと冬期間の安定した交通の確保が図られます。	
	③観光客の増加や市場の拡大、企業誘致、雇用の確保に効果があります。	
	④救急搬送の時間短縮により、大きな安心が得られます。	
	⑤交流拡大と災害時の相互応援の強化につながります。	
2	北陸新幹線	
(1)	北陸新幹線とは	9
(2)	北陸新幹線の整備効果	10
	①日本海側の国土軸が強化され、安全な国土づくりに寄与します。	
	②生活範囲が変わり、ビジネスの可能性も広がります。	
	③移住や二地域居住の増加が期待できます。	
3	大野市の取り組み	
(1)	中部縦貫自動車道県内全線開通及び 北陸新幹線金沢・敦賀開業前後の主な出来事	12
(2)	令和7年度までに取り組む事柄	13
	①中部縦貫自動車道・幹線道路網の整備	
	②産業ブランド力の向上と観光誘客の推進	
	③公共交通手段の確保	
	④雇用の確保と働く場の整備	
	⑤定住サポート	

1 中部縦貫自動車道

(1) 中部縦貫自動車道とは

中部縦貫自動車道は、長野県松本市と福井市を結ぶ一般国道158号の自動車専用道路として、長野県松本市を起点に飛騨地方、美濃地方の険しい山岳地帯を通り、福井市に至る延長約160km（東海北陸自動車道との重複区間約40kmを除く）の高規格幹線道路です。

高規格幹線道路とは、自動車の高速交通の確保を図るために真に必要な道路で、全国的な自動車交通網を構成する自動車専用道路のことです。

中部縦貫自動車道は、この高規格幹線道路網の一翼を担っており、現在、国土交通省によって整備が進められていますが、整備後も県内区間は全線無料で通行することができます。

大野油坂道路については、大野IC～勝原IC間（10.0km）が令和5年（2023年）3月19日に開通、勝原IC～九頭竜IC間（9.5km）は令和5年（2023年）10月28日に開通し、九頭竜IC～油坂出入口（仮称）間（15.5km）は令和8年（2026年）春に開通する予定です。一日も早く全線開通を実現できるよう、引き続き要望していきます。

岐阜県高山市から長野県松本市までの区間については、安房峠道路のみ供用開始されており、早期全線開通がなされるよう協力して取り組んでいます。

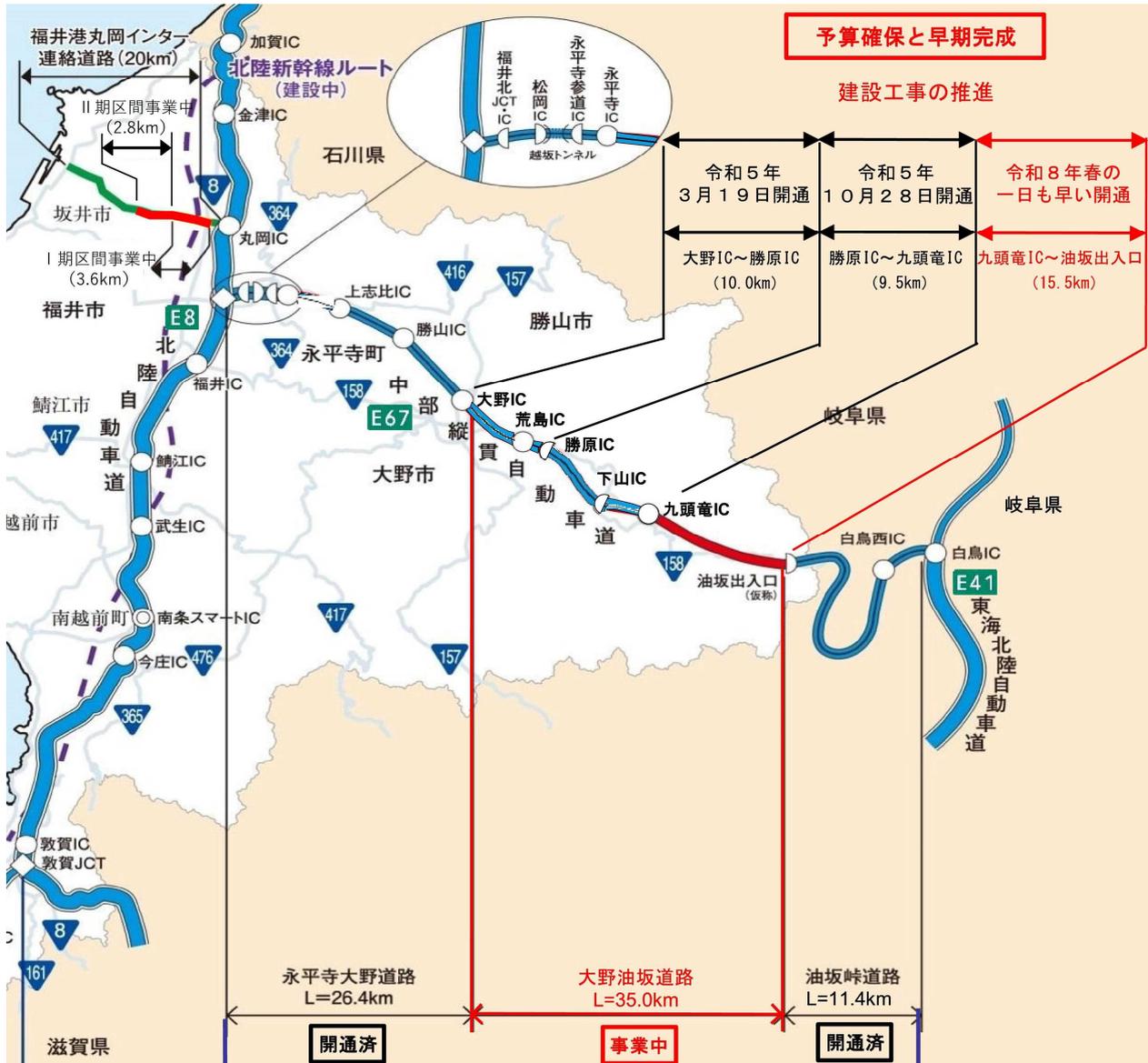
◆中部縦貫自動車道の整備状況



道路名	①永平寺大野道路	②大野油坂道路	③油坂峠道路	東海北陸自動車道	④高山清見道路	⑤	⑥安房峠道路	⑦	⑧松本波田道路
区間名	福井北JCT・IC～大野IC	大野IC～油坂出入口	油坂出入口～白鳥IC	白鳥IC～飛騨清見IC	飛騨清見IC～丹生川IC	丹生川IC～平湯	平湯～中ノ湯	中ノ湯～波田IC	波田IC～松本JCT
距離 (km)	26.4	35.0	11.4	41.4	24.7	21.0	5.6	27.0	5.3
供用開始	H29.7.8	大野IC～勝原IC R5.3.19 供用開始 勝原IC～九頭竜IC R5.10.28 供用開始 九頭竜IC～油坂出入口 令和8年春供用予定	H11.11.1	H12.10.7	飛騨清見IC～高山IC H19.9.29 供用開始		H9.12.6		

（福井県「中部縦貫自動車道パンフレット」引用）

中部縦貫自動車道大野油坂道路の早期整備



(中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会資料引用)

(2) 中部縦貫自動車道の整備効果

- ①北陸圏・中京圏・関西圏・関東圏を結ぶ広域ネットワークが構築されます。

大野市と関東圏を最短距離で結び、北陸圏・中京圏・関西圏・関東圏を結ぶ広域ネットワークが構築されます。

特に、中京圏へのアクセスが格段に向上し、交流人口の増加や物流の拡大が期待され、これまで以上に結び付きが強まります。



(中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会資料引用)

②広域的な迂回ルートと冬期間の安定した交通の確保が図られます。

北陸自動車道、東海北陸自動車道、長野自動車道をつなぐことにより、広域的な迂回ルートが形成されます。

トンネル区間が多いため雪の影響を受けにくく、道路の形状も良いことから、冬期間の安定した交通の確保が図られます。

近年の災害状況

令和4年8月大雨

- ◆東日本と西日本をつなぐ中部圏の大動脈である北陸自動車道、国道8号等が土砂災害により長時間通行止め
- ◆これにより、北陸と中京、関西間の人の往来や物流が停滞
- ◆中部縦貫自動車道・国道158号が広域迂回ルートとして機能

【※過去の災害では、令和3年1月大雪、平成30年2月大雪でも主要道路が寸断し、同様の影響】

令和4年8月大雨による土砂災害の影響



(中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会資料引用)

③観光客の増加や市場の拡大、企業誘致、雇用の確保に効果があります。

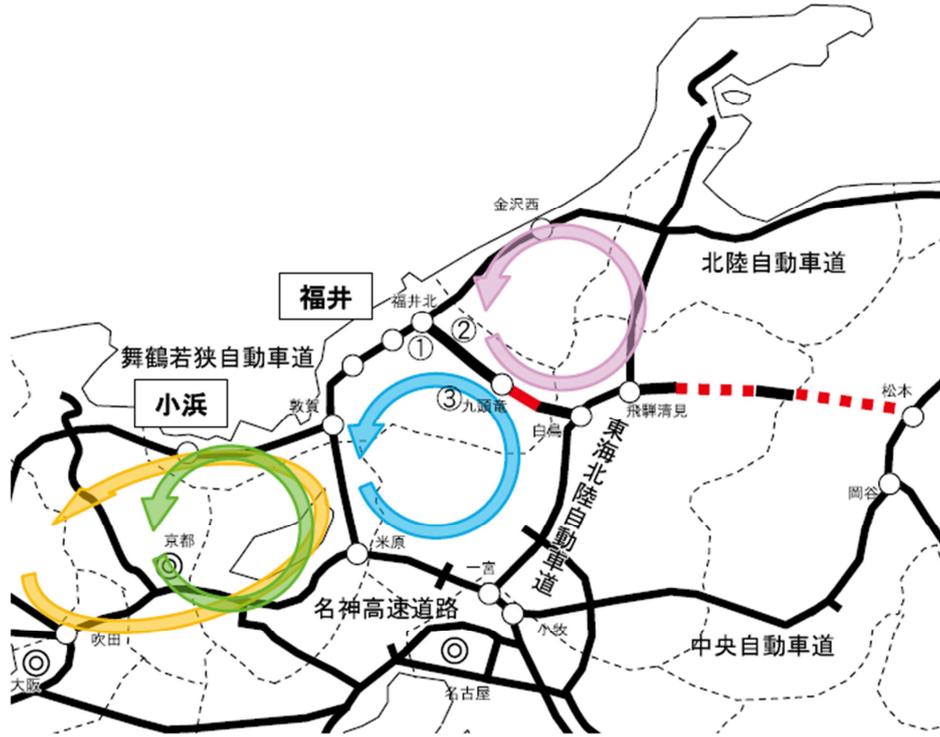
大野市周辺を訪れる県外からの観光客で最も多いのは、中京圏からの観光客です。今後、中部縦貫自動車道が県内全線開通すると、大野市は福井県の東の「玄関口」として、岐阜県などとの観光連携により、交流人口の増加が見込まれます。

また、隣県や大都市へのアクセスが向上することにより、安定した物流ルートが確保され、農産物などの出荷量の増加、企業立地の促進や市場の拡大、働く場の確保が図られます。



(中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会資料引用)

◆隣県・大都市へのアクセス向上により、安定した物流ルートや新たな周遊観光ルートの構築が図れます。



(福井県「中部縦貫自動車道パンフレット」引用)

◆中部縦貫自動車道の整備を見越して企業が進出

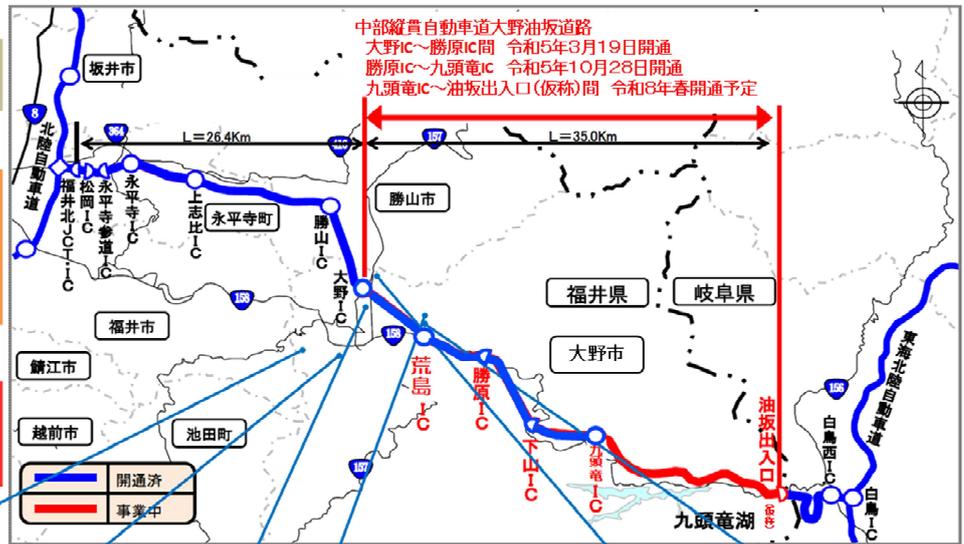
未事業化時
企業誘致が難航

▼

大野油坂道路
事業化
H21.3 荒島IC～九頭竜IC間
H24.4 九頭竜IC～油坂出入口間
H27.4 大野IC～荒島IC間

▼

事業化後の
進出・増築企業:7社
雇用人数:約320人



小山工業団地	中据工業団地	大野市学本	大野市七板		青島工業団地	大野市富田産業団地
タニコー(株) 大野工場	(株)エツミ光学 大野工場	豊実精工(株) 福井大野工場	ファーストウッド(株) 大野工場	(株)福井グリーン パワー	ニチコン製造(株) 富田工場	(株)モンベル 北陸モンベル 大野物流センター
敷地面積 約10ha 雇用人数 13人	敷地面積 約2ha 雇用人数 37人	敷地面積 約0.6ha 雇用人数 21人	敷地面積 約15ha 雇用人数 約150人	敷地面積 約3ha 雇用人数 24人	敷地面積 約4ha 雇用人数 29人	敷地面積 約4.3ha 雇用人数 約50人
平成29年5月 (流通センター開設) 令和元年5月 (FMSセンター開設)	平成24年9月(増築) 平成30年4月(クリーンルーム) 令和3年3月(増築)	平成30年3月	平成23年4月	平成28年4月	平成20年6月(増築) 平成24年4月(再増築)	令和5年3月

④救急搬送の時間短縮により、大きな安心が得られます。

現在、和泉地区から嶺北地方で唯一の第三次救急医療施設（福井県立病院）に向かう場合、搬送時間は1時間以上を要しています。中部縦貫自動車道の県内全線開通により、搬送時間が18分短縮されると同時に、道路線形が改善され走行性が向上することで、搬送患者の負担が大きく軽減します。

地域生活の安全・安心の確保

嶺北地方東西の基幹交通網の構築により、地域生活の安全・安心が確保されます。

◆医療機関へのアクセス向上

奥越地方から福井市周辺に立地する福井県立病院など高次医療機関までの搬送時間が短縮され、医療サービスの向上が図られます。

◆安定した交通路の確保

現道の国道158号は、雪や事故のため、たびたび通行止が発生しています。また、カーブ・屈折区間等が多く、事故割合が高くなっています。

中部縦貫自動車道は、トンネルや橋梁が多いため、雪の影響を受けにくく、道路の形状も良いことから、安定した交通路の確保が図られます。



(福井県作成「中部縦貫自動車道パンフレット」引用)

⑤交流拡大と災害時の相互応援の強化につながります。

大野市では、姉妹都市である茨城県古河市や友好交流市である愛知県岩倉市をはじめ9市町と積極的に交流を図っています。

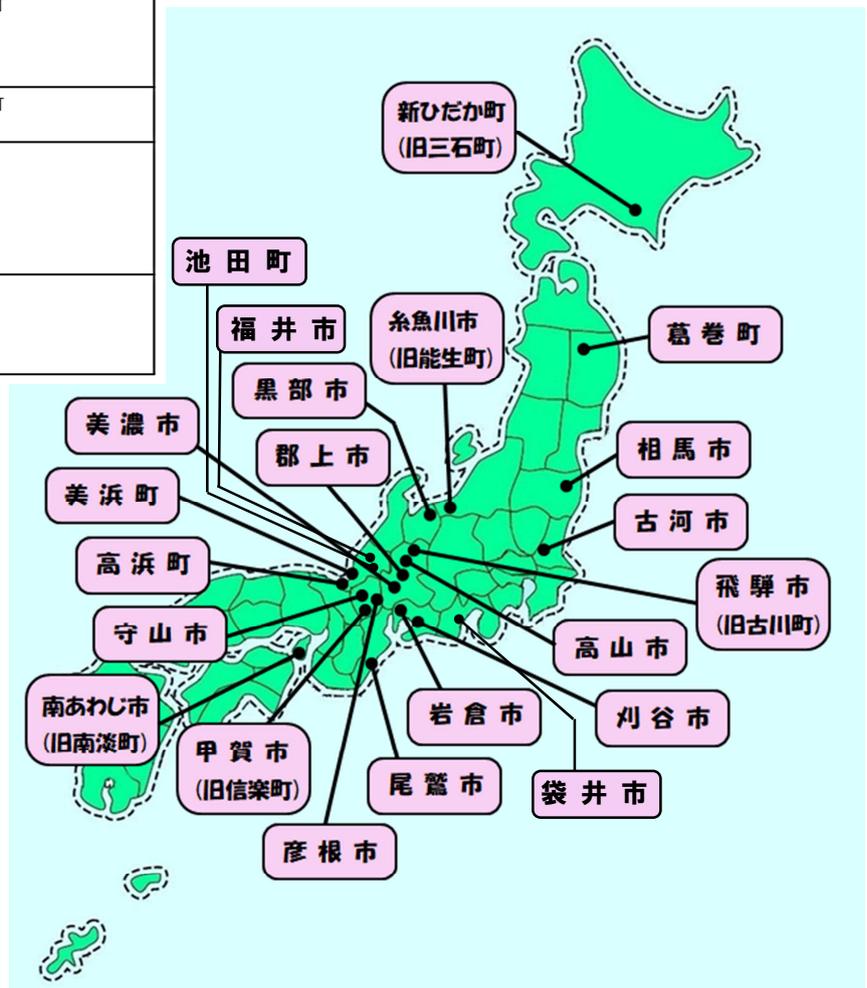
中部縦貫自動車道の県内全線開通で、より多方面の市町との交流につながり、経済交流への発展が期待されます。

また、大規模災害時における相互応援協定を県内外合わせて10市町と締結しています。中部縦貫自動車道の県内全線開通により、迅速かつ円滑な応援・受援対応が可能となり、被災地住民の安全・安心の確保につながります。

◆大野市と交流を行っている市町

◆災害時相互応援協定の締結などを行っている市町

茨城県古河市	姉妹都市 姉妹都市の災害時における相互応援協定都市
愛知県岩倉市	友好交流都市 災害時における相互応援協定締結都市
北海道新ひだか町	友好市町
岩手県葛巻町	
新潟県糸魚川市	
兵庫県南あわじ市	
福井県福井市	
岐阜県郡上市	越前美濃街道広域観光交流都市
岐阜県美濃市	災害時相互応援協定締結市町
富山県黒部市	災害時相互応援協定締結市町
三重県尾鷲市	
福井県高浜町	
福島県相馬市	
滋賀県守山市	
岐阜県高山市	災害時相互応援協定締結市町 ゆかりのあるまち
愛知県刈谷市	ゆかりのあるまち
滋賀県甲賀市	
滋賀県彦根市	
岐阜県飛騨市	
福井県美浜町	
福井県池田町	原子力災害時広域避難元
静岡県袋井市	



2 北陸新幹線

(1) 北陸新幹線とは

北陸新幹線は、上信越・北陸地方を經由して東京と大阪を結ぶ延長約700kmの新幹線鉄道で、我が国の大動脈として地域の発展に大きく寄与する重要な路線です。

東京駅から長野駅までは、長野オリンピックに合わせて平成9年10月に開業しており、平成17年4月には福井駅部が認可され、平成21年2月に完成しました。

平成24年6月には金沢駅と敦賀駅間がフル規格で認可され、平成27年3月には長野駅から金沢駅までが開業し、令和6年(2024年)3月16日に金沢駅から敦賀駅まで開業しました。

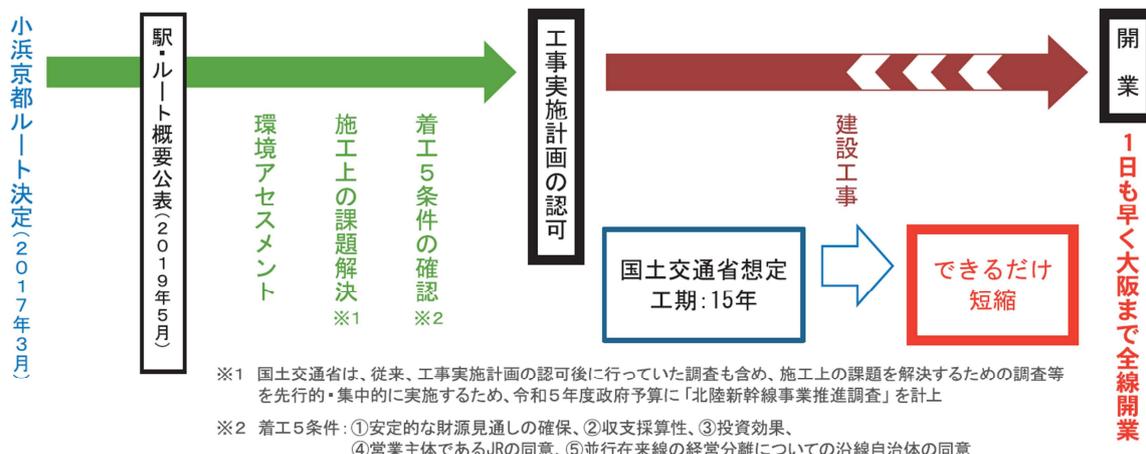
平成29年3月には、北陸新幹線の敦賀・大阪間を小浜京都ルート【敦賀駅～小浜市(東小浜)附近～京都駅～京田辺市(松井山手)附近～新大阪駅】により整備されることが決定しました。現在、敦賀・大阪間では環境アセスメントが行われています。

北陸新幹線のルート



(福井県「関西向け北陸新幹線パンフレット」引用※一部加筆修正)

◆全線開業までのスケジュール



※1 国土交通省は、従来、工実施計画の認可後に行っていた調査も含め、施工上の課題を解決するための調査等を先行的・集中的に実施するため、令和5年度政府予算に「北陸新幹線事業推進調査」を計上

※2 着工5条件: ①安定的な財源見通しの確保、②収支採算性、③投資効果、④営業主体であるJRの同意、⑤並行在来線の経営分離についての沿線自治体の同意

(福井県「北陸新幹線パンフレット」引用)

(2) 北陸新幹線の整備効果

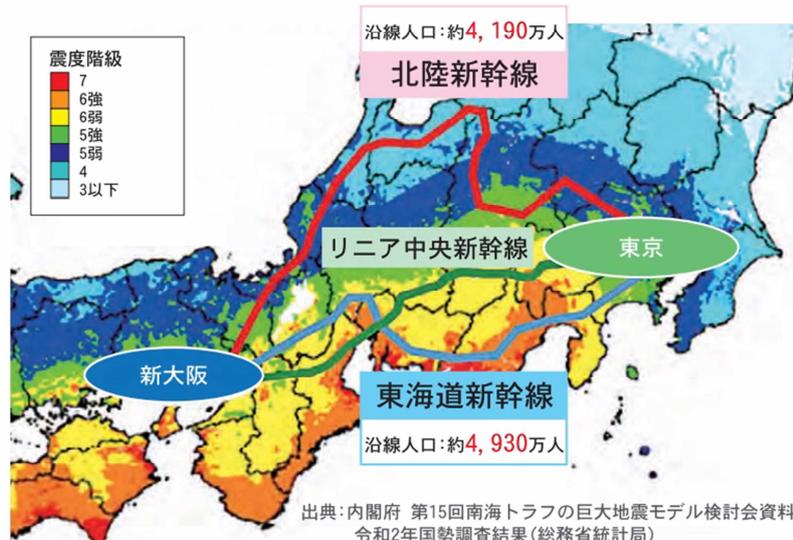
①日本海側の国土軸が強化され、安全な国土づくりに寄与します。

阪神淡路大震災や東日本大震災などを経験し、近い将来、南海・東南海・東海地震の発生が危惧されている中、災害に強い国土構造が求められています。

北陸新幹線は、日本海側の国土軸の強化と国土強靱化を実現し、災害時には、東海道新幹線と相互に支え合う機能を発揮します。

また、平成30年2月の大雪の際にも北陸新幹線は運転を続けました。

◆南海トラフ地震の震度分布と各新幹線のルート



(福井県「北陸新幹線パンフレット」引用)

②生活範囲が変わり、ビジネスの可能性も広がります。

北陸新幹線開業により、東京や大阪をはじめ沿線地域との移動時間が短縮し、利便性が向上します。

新しい旅行先が選択でき、大野市を旅行先に選んでもらえるなど、観光やビジネス拡大の可能性が広がります。

また、離れて暮らす家族や友人との往来や、帰省時に便利になります。

福井駅から各都市間への所要時間（全線開業後）



【現行】

- ・福井⇄大宮、長野は金沢経由、北陸新幹線利用
- ・福井⇄京都、新大阪は特急サンダーバード利用
- ・福井⇄東京、名古屋は米原経由、東海道新幹線利用

【全線開業後】すべて北陸新幹線利用

※現行の所要時間は、R5.3.18改正ダイヤの最速値を使用
 ※全線開通後の所要時間は、国土交通省調査(H29.3)に基づく最速値及び県試算値(乗換え時間10分)
 ※所要時間は想定値であり、開業後の運行ダイヤはJRが決定する。

(福井県「北陸新幹線パンフレット」引用)

Q. 北陸本線がJRから経営分離されると越美北線はどうなるの？

A. 越美北線については、越前花堂駅～九頭竜湖駅間は従前通りJR西日本が運営し、福井駅～越前花堂駅間は、北陸新幹線金沢・敦賀間の開業に伴い、JR西日本から新しい鉄道会社「株式会社ハピラインふくい」へ移管し運営されています。運営者は異なりますが、福井駅～九頭竜湖駅間はこれまで通り、乗り換えなしでご利用頂けます。

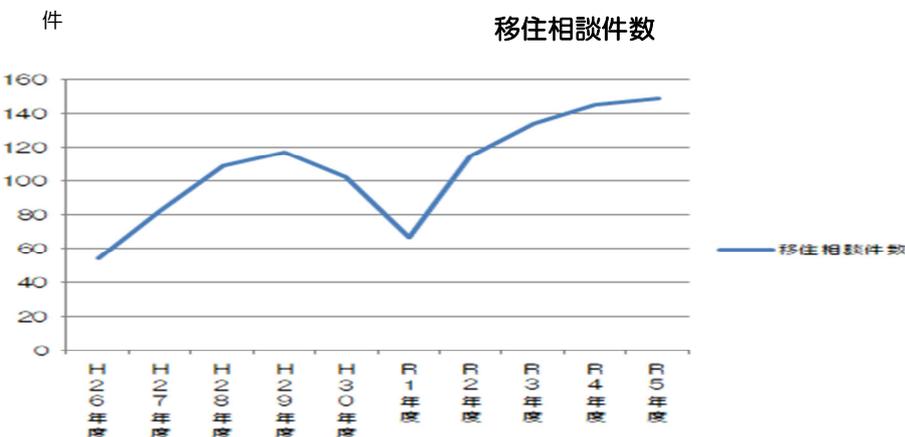
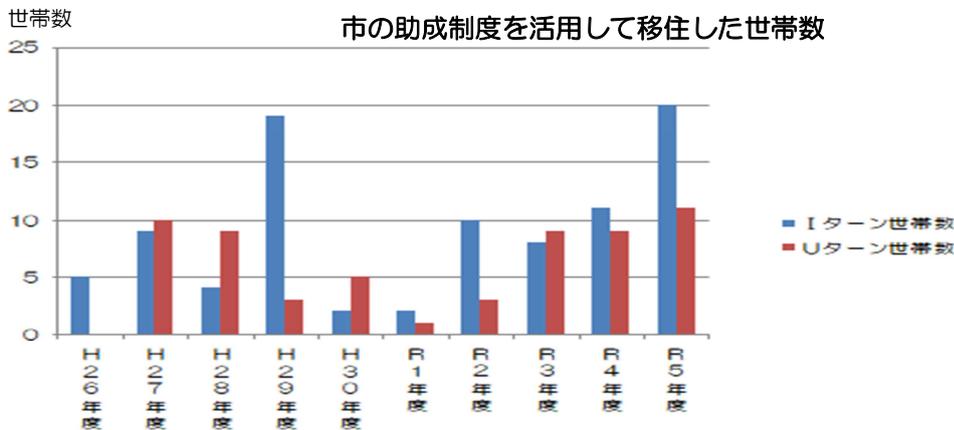
③移住や二地域居住の増加が期待できます。

大都市圏に暮らす人たちの間では、ゆっくりと思いつきの生活の仕方で暮らすスローライフや、健康と環境、持続可能な社会生活を心がける生活スタイル、LOHAS（ロハス）などへの関心が高まりを見せています。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、大都市圏への人口集中の脆弱性が改めて顕在化し、地方回帰の関心が高まる中で、オンラインやリモートなどの活用が拡大し、働き方が変化しています。

大野市でも、豊かな自然や清らかな水、ゆったりとした田舎暮らしを求める移住者の増加が期待されるとともに、中部縦貫自動車道の県内全線開通や北陸新幹線の延伸により利便性が向上することで、これまで以上にIターンやUターンの増加が見込まれます。

さらには、平日は都市圏で仕事をし、週末には田舎暮らしをする「二地域居住」についても、増加が期待されます。



3 大野市の取り組み

中部縦貫自動車道大野油坂道路の大野IC～勝原IC間が令和5年（2023年）3月19日に開通、勝原IC～九頭竜IC間については令和5年（2023年）10月28日に開通し、残る九頭竜IC～油坂出入口（仮称）間については、令和8年（2026年）春の開通を予定しています。北陸新幹線は令和6年（2024年）3月16日に金沢・敦賀間が開業しました。福井県全体の高速交通ネットワークの形成が進められ、大野市ではこの機会を逃すことなく、様々な取り組みを進めています。

（1）中部縦貫自動車道県内全線開通及び北陸新幹線金沢・敦賀開業前後の主な出来事

全体の動き

令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)
北陸新幹線 敦賀～新大阪間ルート公表			中部縦貫自動車道大野油坂道路 大野IC～勝原IC間開通	中部縦貫自動車道大野油坂道路 勝原IC～九頭竜IC間開通 大野油坂道路 勝原・九頭竜間開通記念イベント 北陸新幹線金沢・敦賀開業			中部縦貫自動車道大野油坂道路 九頭竜IC～油坂出入口（仮称）間開通
国道158号 境寺～計石BP開通を要望 ※福井県道路整備プログラムに計画期間（2030年）内の完成予定と記載							
「越前おおのの水の がっこう」オープン		道の駅「越前おおの 荒島の郷」開駅 大野市富田産業団地 分譲開始 「九頭竜川・荒島岳」エリアがジャパ ンエコトラック公式ルートに登録	星空保護区の認定 「星空の街・あおぞらの街」全国大会 全国販売促進 会議開催 観光を軸に稼ぐ新組織 「越前おおの観光ビューロー」の設立	大野市屋内型子どもの遊び場供用 北陸DESTINATION キャンペーン開催 第35回巨木を語ろう 全国フォーラム福井・大野大会 水資源保全全国自治 体連絡会シンポジウム 名水マラソン60周年 金森長近公生誕500年 大野市制70周年			
平成28年度～ 第五次大野市総合計画(後期基本計画)		第六次大野市総合計画(前期基本計画)					
平成29年度～ 越前おおの型食・農業・農村ビジョン(改訂)			(改訂)				
平成29年度～ 越前おおの観光戦略ビジョン(改訂)			越前おおの産業ブランド力向上戦略				
平成30年度～ 越前おおのブランド戦略(改訂)			六呂師高原活性化構想				
大野市地域公共交通網形成計画			大野市地域公共交通計画				
ラグビーW杯2019開催		東京オリンピック・ パラリンピック開催	ワールドマスターズ ゲームズ2021関西開催	日本スポーツマスターズ 2023福井大会開催 恐竜博物館リニューアル オープン	第47回全国育樹祭inふくい	大阪・関西万博開催	

※時期についてはおおよそのイメージで示しています

(2) 令和7年度までに取り組む事柄

①中部縦貫自動車道・幹線道路網の整備

北陸新幹線
金沢・敦賀開業

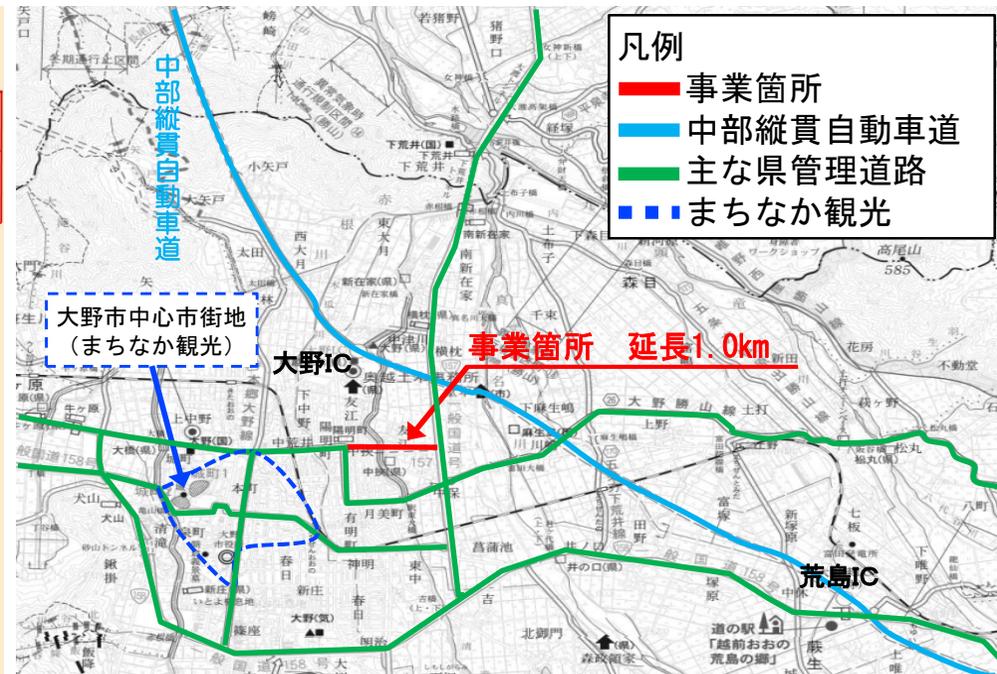
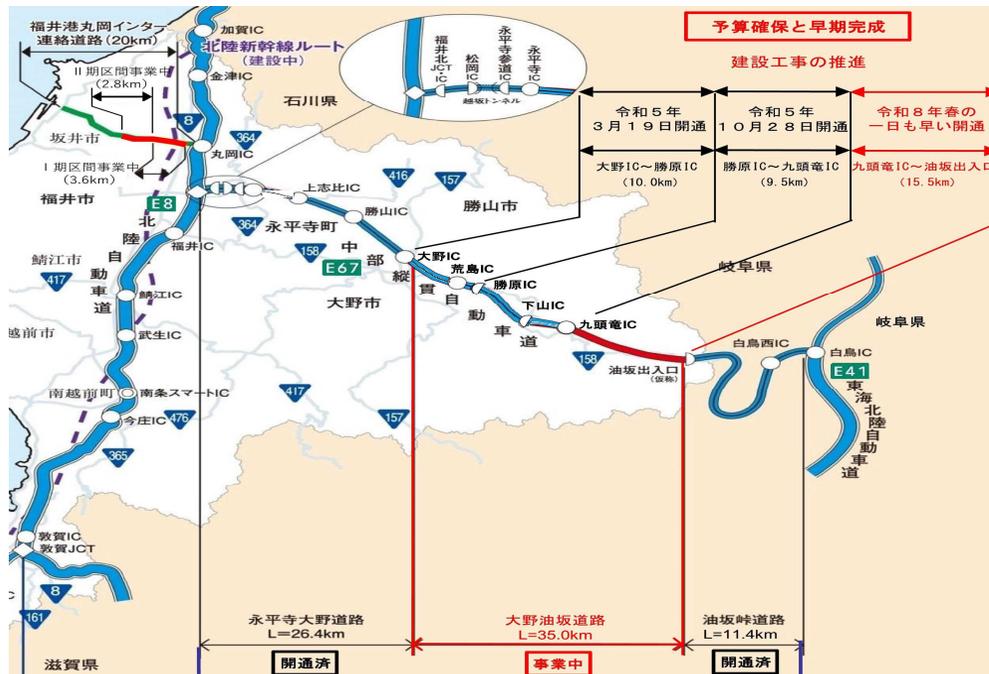
施策	主な事柄	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	
中部縦貫自動車道の整備促進	中部縦貫自動車道大野油坂道路の整備促進を要望	[Blue bar]						★大野IC～勝原IC開通 ★勝原IC～九頭竜IC開通	[Blue bar]
国道158号の整備促進	国道158号境寺・計石バイパスの整備促進を要望	[Blue bar]							
一般県道の整備促進	一般県道皿谷大野線（中挾～中保）及び一般県道白山中居神社朝日線の整備促進を要望	[Blue bar]							

中部縦貫自動車道大野油坂道路

区間	大野IC～勝原IC	勝原IC～九頭竜IC
開通時期	令和5年3月19日	令和5年10月28日

一般県道皿谷大野線（中挾～中保）

早期開通を要望



(中部縦貫自動車道建設促進福井県協議会資料引用)

②産業ブランド力の向上と観光誘客の推進



施策	主な事柄	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	
観光資源の活用と滞在型観光の推進	観光ポスターやパンフレットによるPRなど、観光誘客推進に向けた情報発信の強化	→						★新観光ポスター 掲示開始	★新観光パンフレット 配架開始
	観光客向けの体験・滞在メニューの企画・開発支援	★大野まちつむぎ開始		★ジャパンエコトラック開始 ★九頭竜ぐるっとペダル開始		★食べ歩きグルメの開発 ★「天空の城」VR体験コーナーの設置			
	星空・化石・歴史などの観光資源の活用	★星空ハンモック事業開始(H30～) ★星降るランタンナイト開始(H30～)	★光害対策防犯灯の設置 ★レンタパラソルいろいろどり開始	★2.43関連イベント	★恐竜モニュメントの設置	★星空観望バスツアーの実施 ★国民宿舎パークホテル九頭竜 恐竜ルームのオープン ★九頭竜湖駅舎装飾 ★和泉郷土資料館リニューアル ★ホテルリアル和泉リニューアル ★ホロッサ5周年記念事業 ★大野城インスタ映え装飾(～R6) ★大野城城内装飾完成 ★武家屋敷旧内山家絵障子完成	★星空保護区の認定取得 (アーバン・ナイツカイブレイスではアジア初) ★「星空の街・あおぞらの街」全国大会開催	★星空保護区認定地連携パンフレットの作成	
産業ブランド力（市内事業者の「稼ぐ力」と企業価値）の向上	経営課題の解決を図る事業者に対する結の故郷ビジネスサポートチームによる伴走支援や越前おおのブランドを活用した商品開発、販路拡大への支援など、「稼ぐ」意欲のある事業者を重点支援。また、市が越前おおのブランドを活用した市内事業者の取り組みを、雑誌やSNSを活用し、中京圏や首都圏などをターゲットに消費行動を促すような情報発信を実施				★越前おおの産業ブランド力向上戦略策定 ★稼ぐ力応援事業 ★消費行動を促す情報発信	★結のビジネスプランコンテスト ★夢グループとコラボしたPR動画を制作	★商品の高付加価値化による「大野の逸品」創出支援		
越前おおの産地保証制度の推進	大野産農林水産物のブランド力の強化、「越前おおの里の恵み」認証制度と「越前おおの産」産地保証制度の推進	→							
農産物の総ブランド化の推進	特産作物の生産・出荷奨励支援、6次産業化や農商工連携の促進、園芸作物や特用林産物の生産促進	→							

戦略的な情報発信

- 中京圏や首都圏などターゲットを設定し、食や観光地、歴史などの「越前おおのブランド」を中心としたPRを実施します。
- 誘客を推進する観光ポスター・観光パンフレットの作成、中京圏へのSNSを活用した観光PRや商談会へ参加します。
- 北陸新幹線開業を見据え県やJRグループ、旅行会社等が実施する北陸デスティネーションキャンペーンに参画し、本市への誘客を推進します。
- 中部縦貫自動車道県内全線開通を見据え、中京圏のサービスエリアやショッピングモールにおいて観光PRを行います。
- 中部縦貫自動車道の各ICや道の駅からの市内各観光地へのアクセスマップを道の駅等へ配置し、周遊滞在を図ります。

「星空保護区」を活用した誘客

- 美しい星空を守り、選ばれる観光地づくりを目指して、南六呂師区を対象に星空の世界遺産とも言われる「星空保護区」の認定を令和5年8月21日に取得し、観光資源としての活用を推進します。
- 「星空の街・あおぞらの街」全国大会を開催（令和5年度）
 - 星空観光バスを観光素材としたPRの実施
 - 星空コンテンツの磨き上げ及び情報発信
 - 南六呂師エリア内の防犯灯や屋外照明を光害対策型に更新
 - 星空保護区認定エリアが分かる看板や誘導看板の設置（R5-6予定）
 - 越前大野駅を経由する福井駅発着型の観光バスツアーを民間事業者で組織する団体が実施

六呂師高原の活性化

- 令和4年3月に策定した「六呂師高原活性化構想」に沿って、福井県と連携し、日本一美しい星空や高原景観、県内最大の火山地形など、貴重な資源を守りながら活かし、登山やサイクリング、キャンプ等のアウトドア・アクティビティが集積する一大拠点を目指します。
- 民間事業者がミルク工房奥越前周辺にオートキャンプ場などの整備計画を提案し、県及び市と連携し開発計画を策定

まちなか観光の磨き上げ

- まちなか観光施設を磨き上げ、観光誘客を推進します。
- 大手門広場に楽しく写真撮影のできるフォトスポットを造成
 - VR技術を活用し、「天空の城」を眺望できる疑似体験コーナーを設置
 - 大野の食材等を活用した新たなグルメの開発支援やPRを実施
 - インスタ映えを狙った越前大野城の展示物の展示方法の見直しや装飾を実施
 - 武家屋敷旧内山家に季節に応じて夏障子や絵障子を設置
 - 武家屋敷旧田村家に風車約2,000個を備えた風車棚を設置 など

サイクルツーリズムの推進

- ジャパンエコトラックの公式ルート（九頭竜川・荒島岳など）を活用し、道の駅「越前おおの 荒島の郷」などを発着点に、自転車で田園、六呂師高原、城下町、九頭竜川沿いなど豊かな自然と歴史をゆっくり楽しみながら体感できる旅を提供し、観光客の周遊滞在を推進します。

稼ぐ力の応援

- 経営課題の解決を図る事業者に対する結の故郷ビジネスサポートチームによる伴走支援や越前おおのブランドを活用した商品開発、販路拡大への支援など、「稼ぐ」意欲のある事業者を支援します。
- 結のビジネスプランコンテストを開催
 - 商品の高付加価値化による「大野の逸品」創出に取り組む事業者を支援
 - 個人事業者、事業者グループによる商品開発、イベント実施等を補助
 - 企業、個人事業者の資格取得、研修費用を補助
 - 合同企業説明会への参加やホームページの作成など、企業の人材確保に向けた取り組みを補助
 - まちなか、共同店舗への新規出店を補助
 - ふるさと納税返礼品出品支援 など

農産物ブランド力の強化

- 市内で生産された農林産物の品質の向上や市場や消費者から信頼される製品とするため、農業経営の安定化や農業所得の向上を目指す農業者を支援します。
- 新たな農産加工品の開発、販売、販路拡大等にかかる経費への支援
 - 特産作物であるサトイモやネギ、ナスなどの生産に必要な農業機械や施設整備への支援
 - 穴馬スイートコーンや穴馬かぶらの出荷の奨励
 - 大野産野菜について、市ホームページやSNSを活用したPRを推進

③公共交通手段の確保

施策	主な事柄	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	
バス運行の充実	北陸新幹線敦賀開業や利用者のニーズに合った運行ダイヤの検討	→							
	高速バスの運行に向けた誘致活動	→							
	道の駅「越前おおの 荒島の郷」へのバス（市営バス道の駅線）運行			→					
	中部縦貫自動車道を走行し、越前大野駅と道の駅「越前おおの 荒島の郷」、九頭竜湖駅を結ぶ新しい市営バス和泉大野線の運行				★運行導入に向け協議		★運行開始		→
JR越美北線の利用促進	北陸新幹線敦賀開業や利用者のニーズに合った運行ダイヤの検討	→							
	首都圏や中京圏をターゲットとした新たな周遊ルートの開発		→						
	沿線イベント等と連携した利用者への買い物補助券配布	→							
	県・JR・福井市・大野市連携協定による沿線地域への観光誘客に係る観光施策の企画及び実施		★県・JR・福井市・大野市連携協定締結						
				★御乗印型乗車記念証販売開始		★恐竜・化石と星空をイメージしたラッピング列車運行		→	
						★九頭竜湖駅駅舎装飾			
						★イベント列車実施			



10

JR越美北線の観光利用促進に関する連携協定	
協定期間	令和3年3月5日～令和7年3月31日
<p>福井県、福井市、大野市、西日本旅客鉄道株式会社金沢支社が相互に協力し、北陸新幹線金沢・敦賀開業を生かした越美北線の観光利用促進及び沿線地域の観光振興を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○車両ラッピングや駅舎装飾などによる観光資源としての越美北線の魅力向上 ○駅発着のまち歩きや体験プランなど地域にある観光資源の磨き上げなど周遊滞在型観光の促進 ○越美北線列車内に自転車を持ち込み可能としたサイクルトレインの導入を検討 ○越前大野駅から九頭竜湖駅までの区間で、車窓絶景ポイントにおける徐行運転を導入 	

幻の越美線をつなぐツアー
<p>関東、中京方面をターゲットに、ローカル線の魅力を発信するとともに、新たな周遊ルートを提案するため、本当はつながるはずだった、越美北線、長良川鉄道に沿って流れる九頭竜川と長良川の絶景を楽しむツアーを試行的に実施します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和4年度 モニターツアーを実施（5月、8月、10月、11月） ○令和5年度 民間事業者による商品化が決定

④雇用の確保と働く場の整備

施策	主な事柄	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)
積極的な企業誘致	大野市富田産業団地の整備	→			★分譲開始			
	中部縦貫自動車道の開通効果を生かせる企業や若年層の関心が高い情報技術関連企業などの積極的誘致	→						

中部縦貫自動車道大野油坂道路
勝原IC～九頭竜IC開通

中部縦貫自動車道大野油坂道路
大野IC～勝原IC開通

北陸新幹線
金沢・敦賀開業

大野市富田産業団地の概要

所在地	福井県大野市七板
所有者	大野市土地開発公社
面積	団地総面積 約17ha 分譲可能面積 約7.6ha (全体約12haのうち分譲済約4.3ha)
分譲価格	5,600～6,000円/㎡
分譲開始時期	令和3年4月
立地可能業種	製造業、物流関連産業、情報サービス業等
用途地域	用途指定なし 建ぺい率70/100 容積率200/100
交通 (車ご利用の場合)	<ul style="list-style-type: none"> ■高速道路 中部縦貫自動車道荒島ICまで1.6km (5分) 北陸自動車道福井ICまで32km (44分) 北陸自動車道福井北ICまで33km (35分) 東海北陸自動車道白鳥ICまで47km (51分) ■鉄道 JR越前富田駅まで1km (3分) ■港湾 福井港まで52km (1時間12分) ■空港 小松空港まで78km (1時間8分※北陸自動車道利用)
用水	地下水：使用可能
排水	企業内処理 → 農業用排水路 (地元との協議が必要です)
電力	普通高圧：6,600V (特別高圧：電力会社と要協議)
環境施設面積率	15% (うち緑地面積率10%) ※市が確保済み
公害防止協定	市との間で公害防止協定の締結が必要です

位置図



⑤定住サポート

施策	主な事柄	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)	令和5年度 (2023年度)	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	
定住情報の提供とサポート体制の強化	IJU（移住）サポートチームによる移住希望者の定住支援、移住定住応援サイトの運営	★U・Iターン移住就職等支援金（東京圏型）		★来て見て住んで応援パッケージ ★U・Iターン移住就職等支援金（全国型） ★移住定住サイトリニューアル		★移住PR動画制作			
定住促進対策	おおの暮らし体験プログラムの実施、定住のための住宅取得やリフォームに対する助成	[Blue arrow indicating implementation from FY2019 to FY2025]							
空き家の利活用の促進	空き家情報バンク、空き家希望者バンクの運営	[Blue arrow indicating implementation from FY2019 to FY2025]		★空き家希望者バンクの運用開始					



空き家情報バンク
<p>空き家情報バンクは、定住促進事業の一環として、売却・賃貸が可能な市内にある「空き家」の情報を所有者から募集し、空き家物件情報を市のホームページ上で紹介し、購入・借家を希望している人に提供しています。</p>

空き家希望者バンク
<p>空き家希望者バンクは、移住者などの空き家を探している人の家族構成や探している空き家の条件を、ホームページ上で紹介し、空き家を探している人と空き家を持っている人とのマッチングの促進を図ります。</p>

来て見て住んで応援パッケージ	
「相談・体験」	<ul style="list-style-type: none"> 移住全般の相談（オンライン相談可）、希望に添った移住体験 U・Iターン移住就職等支援金（東京圏型・全国型） 県内企業に就職した県外移住者へ移住支援金 認知度向上と来訪喚起を図るための移住PR動画を制作
「住まい」	<ul style="list-style-type: none"> 空き家情報バンク、空き家希望者バンク 移住定住応援サイトで空き家物件、空き家希望者の紹介、バンク登録された物件の家財処分経費の補助や管理代行サービス費の補助 住まいづくり支援 中古住宅取得支援（最大60万円） 中古住宅取得後のリフォーム支援（最大60万円）
「仕事」	<ul style="list-style-type: none"> 保育人材の就労支援 県外から市内の保育所などに就労した保育士等に就労支援（最大30万円） U・Iターンの就職活動等を支援 市内会社訪問等の移住活動に係る交通費や宿泊代、レンタカー代を支援（最大2万9千円） 市の認定企業や人材不足業種を応援 移住支援金（全国型）の対象者のうち、市内就業先が市認定企業または県が定める人材不足業種の場合は、加算額を上乗せ
「子育て」	<p>子育て応援パッケージとして取りまとめた各種子ども・子育て支援の実施と「こども家庭センター」を核とした総合的な相談支援の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> 「大野ですくすく子育て応援パッケージ」の発行 こども家庭センターの設置



大野市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。